

評価細目の第三者評価結果
(障害者・児福祉サービス版)

A-1 利用者の尊重と権利擁護**A-1- (1) 自己決定の尊重**

	第三者評価結果
A① A-1- (1) -① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 親の意向を把握し、子どものしたい事ができる事になるように、本人のエンパワメントにつながる個別支援に取組んでいる。学習支援をすることで成績が上がり本人の勉強意欲につながった事例がある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-1- (2) 権利侵害の防止等

	第三者評価結果
A② A-1- (2) -① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 法人独自の権利侵害と思われる内容項目のチェック票が作成されており、毎月、職員一人ひとりが自己チェックし、権利侵害にならない対応の意識づけで徹底が図られている。 利用児の様子の変更に気づき、行政につなげたことがある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-2 生活支援**A-2- (1) 支援の基本**

	第三者評価結果
A③ A-2- (1) -① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 職員全体で、利用児の自立に向けた支援を共有している。利用児の子どもの状態を見極め、その日の支援を柔軟に対応している。 個別支援に、着替え、服をたたむ、カバンの中の整理を目標に掲げ、自立生活の支援が実践されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
A④ A-2- (1) -② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 人との関わりの中で、コミュニケーションの大切さを伝えている。職員が子どもの特性を理解し、個々のコミュニケーション能力に合わせた対応から、子ども自身が学び、その能力を獲得している。 今のところ、コミュニケーション機器や代弁者の取り入れはなく、今後必要となれば検討していく姿勢にある</p>	

。	
改善できる点/改善方法：	
A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 保護者からの相談にはいつでも応じている。そのための連絡先も知らせている。 連絡帳を介しての相談等の記載には、速やかに回答するか、話合いの機会を設けている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 利用児一人ひとりが、今月頑張ることの目標を立て、可視化できるようにボードに貼っている。楽しい、成功した、頑張ったことを子どもたちや職員で共有している。 学習支援、運動支援、専門家によるリトミックやヨガなど多くのプログラムを用意している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 週1回、全職員参加で、利用児が通所する前に職員会議を行い、適切な支援を職員間で共有し実践している。 毎日はその日の出勤職員がミーティングし、具体的な対応を統一させている。</p>	
改善できる点/改善方法： どの職員も同じ支援で対応できるように、職員のレベルに合ったスキルアップに期待したい。	

A-2-(2) 日常的生活支援

	第三者評価結果
A⑧ A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 車椅子対応のトイレが設置されているが、現在は利用対象者がいない。トイレ介助が必要な利用児の対応は同性介助で対応している。 送迎は可能な限り保護者の希望に応じて実施されており、各学校の行事の下校時間に合わせた送迎対応をしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-2-(3) 生活環境

	第三者評価結果
--	---------

A⑨ A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	b
<p>良い点／工夫されている点： クールダウンとしての部屋は設置されていないが、それぞれその子が落ち着ける場所を見つけ、職員もその方法をわかって支援している。 体調が思わしくない時には療養できるスペースを確保している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 学習室があるが、集中出来る子はよいが、そうでない子のために机と机の間にボードを設けるなどの環境整備を期待したい。</p>	

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果
A⑩ A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 自立に向けた取り組みが、家庭でも出来るように保護者の協力を得ながら支援している。 挨拶、手洗い、持ち物を指定された場所に置くなど生活習慣を身につけられるよう支援している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果
A⑪ A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 送迎の下校時に学校での様子を確認し、入室時の体温測定、顔色、咳などを観察し、連絡帳で利用児の体調を把握している。 医療機関に受診の場合は、保護者から受診結果の報告を受けている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
A⑫ A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	非該当
<p>良い点／工夫されている点： 非該当</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-2-(6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A⑬ A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a

<p>良い点／工夫されている点： 近くにある図書館へ出掛け、読み聞かせに参加している。親子遠足で動物園や水族館等の公共機関へ行き、公共の場でのマナーを学び、子どもたちの社会性が身に着くよう支援している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
<p>A⑭ A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点： 下校後、家庭でも自分の行動を自分で考えてできるように日中活動支援計画に沿って対応している。 学校や関係機関とも連携し、地域の理解や保護者支援に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
<p>A⑮ A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	b
<p>良い点／工夫されている点： 保護者向けのセミナー参加を呼び掛けたり、利用していない時間帯に保護者対象のヨガ教室を開催している。 年1回の親子遠足も職員と保護者、保護者同士の交流の機会となっている。 相談事は迅速に対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 何に困っているかを理解していない保護者の存在もあり、連絡帳や交流を通して、職員の方からの働きかけに期待したい。</p>	

A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援

	第三者評価結果
<p>A⑯ A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点： 小学生から中学生へとステージが変わる時には、法人が持つ他事業所と連携し、子ども特性に合わせた利用へとつなげている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援

	第三者評価結果
<p>A⑰ A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。</p>	非該当

良い点／工夫されている点： 非該当	
改善できる点／改善方法：	
A⑱ A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	非該当
良い点／工夫されている点： 非該当	
改善できる点／改善方法：	
A⑲ A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	非該当
良い点／工夫されている点： 非該当	
改善できる点／改善方法：	

A-5 県独自項目

A-5-(1) 職員の援助技術の向上

	第三者評価結果
A⑳ A-5-(1)-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	b
良い点／工夫されている点： 定期的な内部研修が行われている。スキル別には設定されていないが、基礎の援助技術を何度も繰り返すことで、基礎を忘れない研修が行われている。	
改善できる点／改善方法： 職員のレベルに合わせた研修計画を立て、職員一人ひとりの援助技術の向上に期待したい。	

A-5-(2) IT技術や知識の修得

	第三者評価結果
A㉑ A-5-(2)-① 利用者の社会生活に必要なIT技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。	非該当
良い点／工夫されている点： 非該当	
改善できる点／改善方法：	